

別紙1：J-BIRD（概要）

平成23年3月25日
在フィリピン大使館

1. J-BIRDとは

- J-BIRD (Japan-Bangsamoro Initiatives for Reconstruction and Development) とは、2006年12月の安倍総理（当時）のフィリピン訪問時に立ち上げられた、ミンダナオの平和と安定に資する日本の支援の総称。これまでの支援合計額は、約119億円。

2. 無償資金協力

- 草の根・人間の安全保障無償：J-BIRD 発足後5年（06～10年度）で合計50件。その内26件がARMM (Autonomous Region in Muslim Mindanao) 域内。右50件の合計額は約4.1億円。案件は、校舎、職業訓練所、給水設備、保健センターの建設・補修等。
- 日本NGO連携無償：1件（学校建設等）（09年度）（0.13億円）
- WFP経由のIDP（国内避難民）に対するコメ支援（8.6億円：配布09年1月～10年1月）
- WFP経由のIDP（国内避難民）に対する食糧支援（国際緊急食糧リザーブ活用、70万ドル）

3. 技術協力プロジェクト

- ARMM地域開発シニアアドバイザー：ARMM政府に専門家を派遣。対ARMM支援事業の運営・管理、ARMM政府に対する助言。
- ARMM人材育成プロジェクト（3.5億円）：ハラル産業振興、行政組織基本法制定、人事情報管理システム構築、インフラ管理に関する支援。
- ARMM地域稲作中心営農改善プロジェクト（0.85億円）（2010年2月で終了）
- ミンダナオ平和と開発のための地形図作成プロジェクト（13億円）（2010年3月～）

4. 有償資金協力

- ARMM社会基金
 - ・2004年4月より開始。世銀との協調融資。わが国の拠出規模は24.7億円。
 - ・1バラガイあたり約300万円で小規模インフラ整備を行うCDA (Community Development Assistance) と、より規模の大きいSRI (Strategic Regional Infrastructure) をARMMで実施中。共に主な分野としては、多目的センター、給水施設／タンク、乾燥施設、倉庫、学校、道路の建設・改修等。
- 中部ミンダナオ道路整備事業（37.17億円）

5. ノン・プロジェクト無償見返り資金事業

- 3件を2009年6月に承認：日ARMM友好会館及び研修施設、ARMM道路網改善のための機材供与、公立高校へのパソコン給付プロジェクト（フェーズ4-ミンダナオ部分）。

6. その他

- ミンダナオ紛争影響地域社会経済復興支援調査 (SERD-CAAM: The Study for Socio-Economic Reconstruction and Development of Conflict Areas in Mindanao)
 - ・2007年3月より開始。2009年11月に終了。
 - ・紛争影響地域の3,847バラガイに対し実施したニーズ調査に基づき、社会経済開発計画 (SEDP: Socio-Economic Development Plan) の策定を行うと共に、調査過程に、11件のQIP (Quick Impact Project)（学校、多目的センター、給水施設等の建設。一件約500～700万円）、23件のOSA (On the Spot Assistance)（発電機・精米機の供与、デイケアセンター・小学校の修繕等。規模は平均約14-15万円）を実施。